

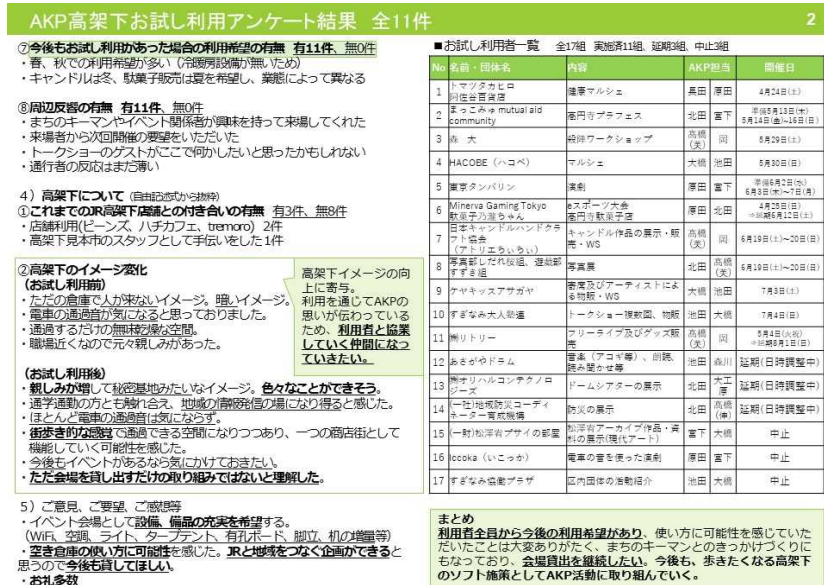
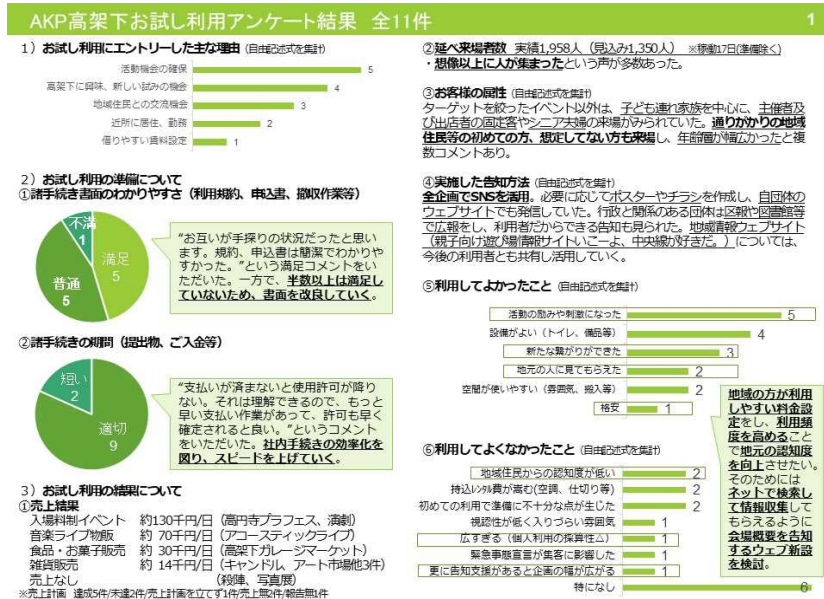
第1回まちづくりアワード(実績部門) 特別賞 株式会社 ジェイアール東日本都市開発 <東京都渋谷区>

■中央線 高円寺・阿佐ヶ谷駅間の 地域 コミュニティ形成

【効果】 対象とする取組が、地域のまちづくりに対して優れた効果があると判断できること

2021年4~8月において、当「高架下空き倉庫」にて述べ11回(実施日数17日)イベントが開催されましたが、当初想定1,350人を大幅に上回る約2,000人にご来場頂きました。コロナ禍にも拘らずこれだけご来場頂いたのは感謝の極みであります。「高架下空き倉庫」に対してのイメージ把握の為、毎回主催者とイベントの振り返りを行っており、各主催者からは①親しみが増した②秘密基地みたいで面白い③色々なことができそう④通学通勤の方とも触れ合え、地域の情報発信の場になり得ると感じた等の有難いご意見を頂戴致しました。

高架下お試し利用者からのアンケート集計表(回答11件・2021年8月)



高架下空き倉庫 これまでの活動のご紹介

企画 株式会社ジェイアール東日本都市開発 阿佐ヶ谷・高円寺プロジェクト

2017.12.9～12.10

まちあるきカレンダー
プレゼント



阿佐ヶ谷高円寺間の高架下をお散歩しながらクイズに答え、街のイラストが描かれた卓上カレンダーをプレゼントする企画を開催。イラストは阿佐ヶ谷在住のイラストレーター峰村友美さんによるもの。



2018.9.21

高円寺×阿佐ヶ谷映画祭



様々なカルチャーが混在する高円寺と阿佐ヶ谷で、その空気感や暮らしぶりを体感する一夜限りの映画祭を開催。株式会社まのくらしと連携し、高架下の音成はシャッターが閉まっている空き店舗や空き倉庫を劇場に変身させた。高円寺と阿佐ヶ谷で活躍するプレイヤーたちに、各会場のナビゲーターとして映画選びやトークセッションも行い、全7会場にて、17作品を上映。

<https://youtu.be/m7AC1NYWkOY>



2019.5.12～6.2

アイデアで高架下を楽しもう！



高架下でこんなことができるか？というアイデアを募集したり、実際にやってみようという企画を開催。高架下でミニSL走らせたり、テントで夜明かしをしたり・・・
高架下にあたらしい文化をつくっちゃおう！「こんなことができる？」って声に出してみたら、出来ることがあった。アイデアを持ち寄れば、高架下がもっと楽しくなる！

<https://youtu.be/eGwLvjO-aU>
https://youtu.be/L7Pw_SmH3F4



2019.9.23～11.4

高架下芸術祭



期間中は週末を中心に、高円寺の老舗銭湯「小杉湯」の管頭をしながら絵画や演劇の制作などを行う芸術家アーティストたちが、作品制作やワークショップを行い、参加者として高架下を通行される方々と、作品の生まれる過程を日々共有。
最終日11月4日に全作品が完成するとともに、開催期間中アートを通して高架下へのまなざしを、影のある風景に変えていくことを目指す。

<https://www.youtube.com/watch?v=I0n0Z-mvJ0k>



2020.9.13

Song for 高架下
～観客回遊型ライブ～



JR高円寺～阿佐ヶ谷間の高架下から着想を得た楽曲「Song for 高架下」の演奏。
鑑賞者を囲む様に楽器を配置し、会場内を自由に移動しながら演奏を聴き「自分の行動によって音楽の聴こえ方が変わる」観客回遊型ライブ。
楽曲コンセプトは「高架下空間の歴史」。高架下芸術祭のワークショップで集めた高架下の音たちを楽曲に使用している。

<https://youtu.be/gs-G6RIZ-w>



2020.12.12～13

まちの視点の百貨店
主催：別視点



地域住民とマニアがそれぞれの「視点」で発掘したまちの魅力や、クエスト型散歩やウォーキングツアー、展示などの体験型イベントで伝えます。
アート壁の視点、はみ出す緑の視点、顔の視点、見立ての視点、看板文字の視点、片手袋の視点、誰かがいた跡の視点、街角DIYの視点、この8つの視点を採って街を歩く。

<https://youtu.be/h14c9I49-Xs>



2020.12.18～19

高円寺・阿佐ヶ谷 高架下見本市



高架下の使い方・楽しみ方を地域のみならずとシェアしながら高架下をもっと身近に感じていただき、そして地域のみなさんの「こんな使い方をしてみたい！」を今後一緒に実現することを目的としたイベント。
高架下活用のパネル展示、高架下空き倉庫「お試し利用」の説明&エントリー受付、まちあるきカレンダープレゼント、空想高円寺・阿佐ヶ谷 立体工作。

https://youtu.be/hMovWvH67_4



2021.5.24～

高架下お試し利用



高架下見本市で、「こんなことができるかな」「どうやったらできるかな」と、地域のみなさまから高架下空間を使っていたいというエントリしていた様々な企画を開催。
地域に所縁のある方々による、ワークショップ、アコースティックライブ、演劇、映像等の芸術や写真の展覧会、マルシェ等。



ペーパークラフト作品によるスタードーム展示



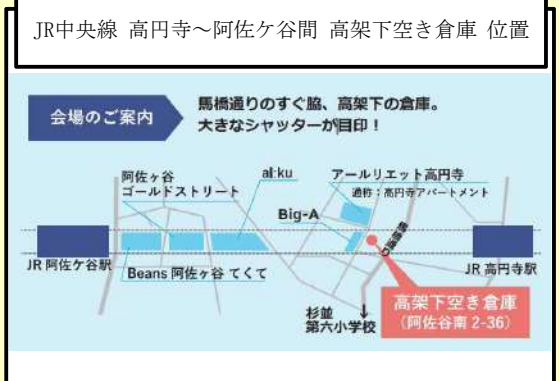
鑑賞・受付状況
高架下通路の通行者も思わず足を止めて見ておりました



来場者へ対してSNS等を活用した拡散を企画



JR中央線 高円寺～阿佐ヶ谷間 高架下空き倉庫 位置



【活動概要・高架下空き倉庫の地域利用～地元NPO団体によるご利用について(BATA ART EXHIBITION)～】

■活動場所

JR中央線 高円寺～阿佐ヶ谷間 高架下空き倉庫 【住所】東京都杉並区阿佐谷南2-36

■活動内容

NPO法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー様主催によるスタードーム・ライトアップイベント「BATA ART EXHIBITION」を開催
※例年、阿佐谷中学校の校庭を会場にしていたスタードーム・ライトアップイベントについて、今回特別に高架下空き倉庫にて開催

■活動効果

・新たな高架下空き倉庫の利用方法

当日は、普段の高架下空き倉庫からは想像もできない空間が演出されました。プロジェクター映像・音響効果も相成り、幻想的な雰囲気が来場者を包み込んでいました。

・ご利用者様からのご紹介

主催者のNPO法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー(以下、TFF)様は、お試し利用のご利用者様からのご紹介で、実現に至りました。本企画中も、自分も展示したい、ライブによさそう等のお声をいただいています。

・ご来場者様について

近隣のファミリー層が家族単位で来場されたケースが大半でした。若年から高齢にかけてはお一人、または夫婦、親子の来場もありました。

・今後のつながりの継続

本イベントについては、杉並区様が運営するSNS「中央線あるあるプロジェクト」及び区の広報において情報発信をしていただきました。NPO法人様、杉並区様、JR東日本グループである当社という三者で本イベントを通して地域の皆様に向けたイベントに取り組む機会となりました。

TFF様は杉並区の英語版観光パンフレットの制作、「中央線あるあるプロジェクト」という主にWEB周りの業務等を受託されており、今後の高架下空き倉庫のイベント情報等についても、地元情報として連携する機会をいただきました。高架下空き倉庫を通して、地元の方のご利用の発信機会も増えています。

■当社の今後について

当社としては今回のつながりを繋ぐことで情報発信の強化等に取り組んでいき、地域の皆様にとって「あったらいい」「くらしづくり・まちづくり」に貢献していきたいと思えます。当社の使命である、「①駅から駅へと伸びる、都市の余白に人々の賑わいや憩の創造 ②暮らしの豊かさの追求 ③高架下に秘められた価値の引き出し」を遂行し、未来の「くらしづくり・まちづくり」に挑みます。

※当社での「くらしづくり・まちづくり」高架下開発イメージ：日比谷地区(施設名称：日比谷OKUROJI)

【開発前】



【開発後】



活動や内容に関する写真及び地図



高円寺殺陣ふれあい祭(殺陣アクション研究会) 現役の殺陣役者さんによる迫力ある殺陣パフォーマンスを実施。天井が高いので、長尺の刀や鎧を使用したショーで思わず足を止める様子。



左記イベントについては、お客様による殺陣体験も実施。コロナ禍で遊び場が少ない中、子供たちにとっては貴重な遊戯体験となりました。



ちびっこパーク(主催カヤケン合同会社)主に未就学児対象で大盛況でした。平日開催にも拘らず、満員御礼でございました。新米ママと小さいお子様がメインでしたが、新米パパのお姿も見えました。働き方改革が進んでいる事を実感しました。



used子供用品販売も好況で、残りの商品が殆どない程に商品が出ておりました。一時間の入替制でしたが、時間終了間際に帰りたいお客様が駄々をこねている姿にほっこりさせられました。



キャンドル・マルシェ@クリスマス(主催日本キャンドルハンドクラフト協会) 2021年12月18日(土)19日(日)開催。いつもは無機質な高架下空き倉庫も、たくさんさんのキャンドルや装飾、BGMで、華やかなクリスマスモード一色に変貌しておりました。



協会所属の作家さんによるオリジナルハンドメイドキャンドルやリースの販売、お客様方に人気のキャンドル釣り、クリスマスデコキャンドルづくりの体験等を行っていただきました。



Zoomによる当社AKPメンバーとご利用者様達との意見交換会を実施。今後の高架下空き倉庫の有効活用及び強固なネットワークの構築が実現出来ました。



本AKPメンバー集合写真。くらしづくり・まちづくり室、高架下開発事業部門、ショッピングセンター部門、オフィス住宅部門、施設管理部門の各スタッフによる社内横断PTになります。